

## 京ヶ峰山麓 里山の整備

里山の整備が平成17年12月18日、18年1月22日、2月26日に行われ、毎回60人以上の坂崎区民が参加しました。自然の恵があり楽しめる憩いの森を作ることが目的で、参加者は雑木伐採や堆積物の除去など美しい森を作るために懸命に作業を行っていました。



## 花いっぱい運動

町村合併50周年記念事業として平成16年度からスタートした「幸田町花いっぱい運動」では、各地域のボランティアの皆さんのご協力により、2年間で全町に桜970本、あじさい2,800本、ヒガンバナ、スイセンなど多くの花木の植栽がされました。

この活動には、地元役員はもちろん子ども会、老人クラブ、女性部、PTAなどの参加をいただき、各地域で運動が展開されています。中には、区民全体で植樹祭を開催するなど、積極的な取り組みを展開する区もあります。植栽された花木は、地元の皆さんにより今後も継続的に管理活動が行われていきます。

ここでは、ご協力いただいた地元ボランティアの皆さんの活動状況の一部を写真でご紹介させていただきます。



大草区 (水仙植栽 H17.12)



高力区 (植樹祭 H17.2)



荻区 (桜植栽 H18.2)



久保田区 (水仙植栽 H17.12)

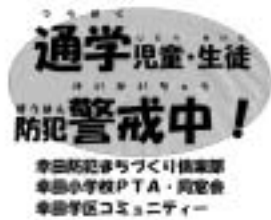
## 特集 2

# 地域で広がる協働の輪

いつ発生してもおかしくないと言われる東海・東南海沖地震、そして全国で発生している凶悪犯罪。荒廃していく里山環境。いずれも各自治体が対策を講じなければならない重要な課題となっています。また、行政だけではその対応が困難な問題であります。こうしたなか、町内各所においてそれぞれ共通の目的をもって協力しあう「協働」の輪が広がっています。今回は特に防災、防犯についての取り組みや、地域の環境を守り育ててゆく地域活動の一部を紹介していきます。

2月18日 安全・安心なまちづくり推進大会事例発表から \*関連記事はP13

## 幸田防犯まちづくり倶楽部「幸田防犯パトロール事業の活動について」



掲示されたプレート

平成16年4月に発足した幸田防犯まちづくり倶楽部は、プレート掲示運動と青色回転灯付き自動車でのパトロールを行いました。

プレート掲示運動とは、「通学児童・生徒防犯警戒中!」と書かれたプレートを家や店の店頭に掲げてもらい、犯罪を防ぐ試みでした。この活動は、登下校する時間に掲げてもらい、それ以外の時間ははずします。活動参加者が付けたりはずしたりする際に子どもたちと言葉を交わすことで、いっそう防犯を意識するようになると考えました。



防犯パトロール

## 横落区「防災・防犯は待てない」



横落区防災・防犯マップ

被災時に知っておきたい「避難路」、「避難場所」、「消火栓の所在場所」の情報を知ってもらうため、「横落区防災・防犯マップ」を作成しました。幅5㍍、高さ4㍍の大きな屋外看板を横落コミュニティセンターの壁に設置するとともに、マップを縮小したものを永久保存版として各戸配布しました。

また、区内では幸いにも大きな被害は発生していないものの、未遂事件や空き巣の被害が出ていることから、防犯パトロール隊の結成を決議しました。



防犯パトロール隊発足に向けた会合

## 六栗区「災害に強い集落づくりをめざして」



防災訓練の様子

緊急の災害に備え、住民の生命・身体・財産を守り、安全で安心して暮らせる災害に強い集落を目指して、防災訓練を行いました。午前10時に震度6弱の地震が発生したという想定で行いました。

区民の把握や被害状況の確認。このほか、高齢者・身体障害者への対応として、役員が家庭へ出向き、安全確認を行いました。避難所では、テントや仮設トイレを設営し、ハイゼックスの炊き出し訓練も行いました。



ハイゼックスの炊き出し